

# 災害の教訓を 未来に伝える

自然災害が起きた場所には、  
その災害を記した石碑が建っていることがあります。  
それは、将来起こるかもしれない災害に備えるため  
先人達が残した、わたしたちへのメッセージです。

## ①『自然災害伝承碑』とは

- ◆ 過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害などの様相や被害の状況などが記載された石碑やモニュメントのことです。
- ◆ おもに被災場所に建てられており、それらを地図に表すことで地域住民への自然災害リスクの認識と防災意識の向上に役立つことが期待されます。

取組のきっかけは西日本豪雨 坂町で撮られた1枚の写真



撮影:大阪府警察

災害救助活動を行う大阪府警。再び被災した小屋浦地区の住民の多くは、石碑の存在は知っていたが、碑文の内容はあまり知られていなかった。



明治40年の豪雨による洪水・土石流被害を伝える「水害碑」

# 自然災害伝承碑の地図への表示

国土地理院では、令和元年3月に新たな地図記号「自然災害伝承碑」を制定し、地図に掲載することで、災害教訓の周知・普及に取り組んでいます。



## 公開中の自然災害伝承碑

607市区町村の2111基  
(令和6年4月25日時点)



公開中

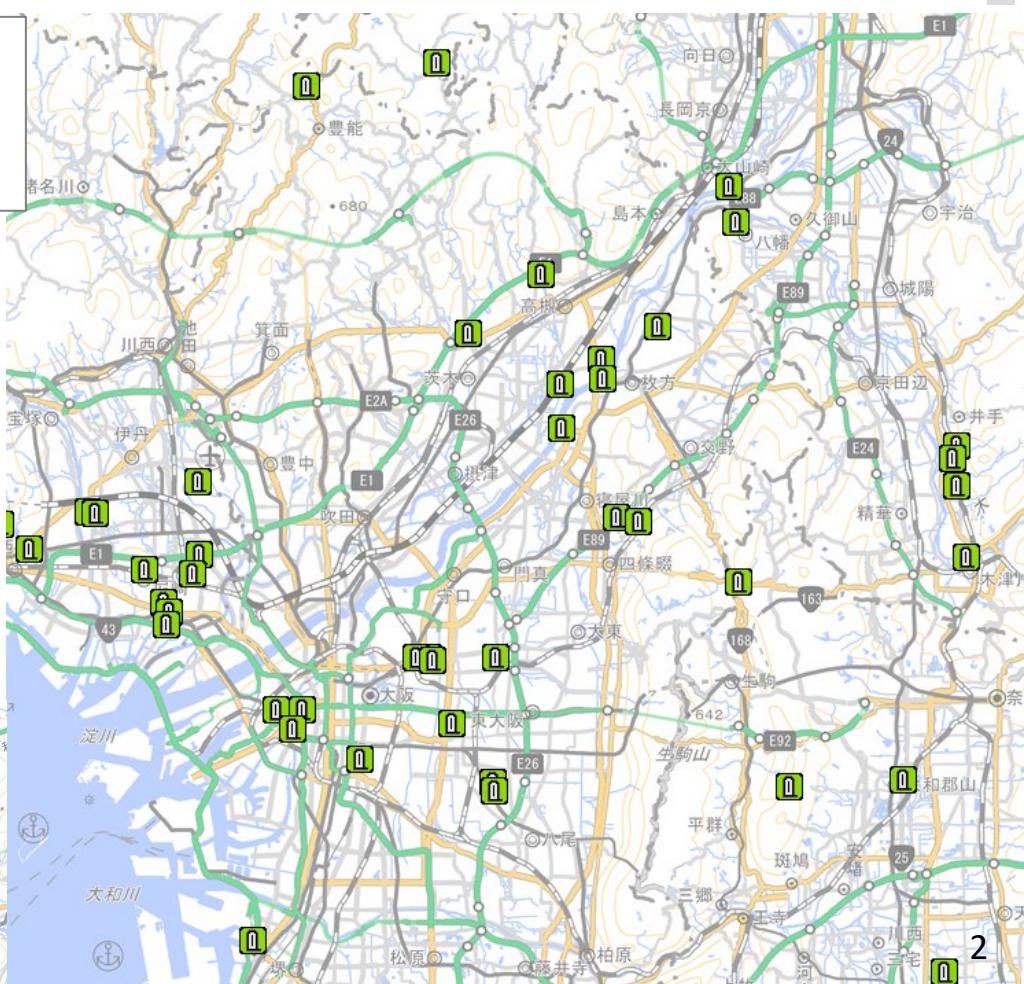


## 公開基数(都道府県別)

都道府県	基数
1 岩手県	162
2 高知県	96
3 神奈川県	93
4 宮城県	87
5 長野県	82
6 広島県	81
7 三重県	79
8 愛知県	76
9 静岡県	74
10 兵庫県	72
~	
34 大阪府	23

## 大阪府域の 自然災害伝承碑 (23基)

各市町村	基数
大阪市	8
高槻市	3
枚方市	2
茨木市	1
寝屋川市	3
東大阪市	3
その他	3



## 地理院地図での表示例



地理院地図上のアイコンをクリックすると伝承内容を表示

# 「大塚切れ洪水記念碑」

淀川大塚切れ 大阪府高槻市大塚町三丁目

**概要**

碑名	大槻切れ洪水記念碑
災害名	淀川大稼せり(1917年10月1日)
災害種別	洪水
建立年	1930
所在地	大阪府高槺市大槻町三丁目

**伝承内容**

大正6年(1917)10月1日、台風による大雨で淀川の水位が上昇し、高槻市大槻町の堤防が200mにわたりて決壊した。零壊部は流れされ、崩壊し、死傷者は甚大なものにのぼった。後世への戒め、「度安必至危免(安易に暮らしていくも、絶対に危険があることを忘れてはならない)」が碑文に刻まれている。

ID:27207-001

**高槻 GC**

**枚方大橋**

**淀川河川公園**

**磯島元町**

**磯島南町**

**関西医科大新町(上)**

**岡本町**

**三矢町**

**岡南町**

「赤井堤紀念碑」 明治18年洪水 大阪府寝屋川市木屋元町

## 明治18年洪水 大阪府寝屋川市木屋元町

明治18年洪水 大阪府寝屋川市木屋元町

# 「赤井堤紀念碑」

概要	
碑名	赤井堤紀念碑
災害名	明治18年洪水 (1885年6月17日、7月2日)
災害種別	洪水
建立年	1886
所在地	大阪府寝屋川市木屋元町
伝承内容	
明治18年(1885)6月17日、上流から洪峰が上昇して、枚方市和加賀田近の堤防が決壊し、寝屋川(なにわ川)五岸(ごがん)、結果が浸水した。さらなる暴風雨の影響で、7月2日に再び堤防が決壊し、枚方市との境にある赤井堤でも約360mにわたって決壊したことで、豪雨が失35、農地は450haにより壊滅した。当時この堤防が決壊した場所に建立された。	
制限事項	

- 地理院地図 <<https://maps.gsi.go.jp/>>
  - 自然災害伝承碑についての各種情報紹介ページ  
(国土地理院 自然災害伝承碑のページ)<<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>>

 地図への掲載には、市町村のみなさまからの申請が必要です。

新たな伝承碑の建立や、地図に掲載のない石碑の情報がありましたら担当までご連絡ください。

管轄：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

## ●國土地理院近畿地方測量部

連絡先 06-6941-4507（代表） e-mail : gsi-denshou-06-kk@gxb.mlit.go.jp